いわき民報
発行所 平市田町48 電381 176 1222
社報 いわき民報
印刷兼発行人 登原 田
編集兼発行人

報道は迅速 正確

本紙はいつでも自由に購讀出來ます　お申込みは本社又は販賣店へ

いわき民報社

追加豫算一千万圓 新豫と共に提出

廿六日から市會で審議

平市二十六年度歳入歳出豫算並に二十五年度追加更正豫算等提出議案二十五件を審議する平市會は二十六日午後一時から開く、二十六日の議案說明だけで三日間休會、三月二日再會し議員の總括質問に入つて各部委員會に附託の豫定である、二十六年度豫算は九千七百四十二万九千五百九十七円（前年當初比二〇・〇一一・七八二四増）となつているが財政法改正等政府の財政方針が未決定のため市稅、地方財政平衡交附金等も昨年の基準と大体同じく計上した、二十五年度追加更正豫算は九百九十一万五百六十七円で總額二億六千九百九十四万九千三百五十八円となつている、なお二十六年度の特別合計では瓦製造工場事業豫算が百二十七万、都市計畫では側溝工事の研町彌宮丸、南町、八幡小路地内七千五百五円と前年度より二十万千六百円の減、國民健康の六千一万五千円、負擔金補助及交付金の三百八万二千円事業豫算は千六百六十九万六千三百、千五百六十七円増加市營競輪事業豫算では九千百二十万六百円と前年度より千三十三万四十六百円と競輪費公債費、諸支出金の増加で昨年度より増加している、水道事業豫算は千三百四十七万二百円と昨年より百十五万四百十八円の増

【二十六年度一般會計】歳入（單位円）市稅五六、五〇三、一三三平衡交付金二一、〇〇〇、〇〇〇公企業及財産收入五〇、七〇、分擔金及負擔金二〇〇使用料及手數料二、三二七、二七四七八縣支出金二、三、五五〇〇六〇寄附金二六〇、三〇〇繰越金一〇〇、〇〇〇雜收入七一三、四四九市債一〇、〇〇〇歳出＝議會費一七五〇、七〇〇役所費二〇三百五十八円、歳出では地方公務員法のベースアップで一月から溯及給するが計畫輪事業費歳入歳出豫算、廿六年度特別會計水道事業費二六、六四〇、八一二社會及勞働施設費二、一一〇、六八五保健衛生費二、一七八四、五七五産業經濟費二、五九六、四三三財産費九一九、四六五統計調査費三九八、四八六選擧費八八、二二〇公債費、一三四、九一六諸支出金六七八〇〇豫備費一、一〇〇、〇〇〇

主なる事業

「土木費」の道路橋梁維持修繕の百二十四万円で小泉橋、上荒川橋、上神谷道路、上高久道路、幕の内道路等の修繕「衛生費」の研町無職佐藤幸文（四〇）に因縁をつけて毆打、平市員かけつけ取り押えようとした所拔打ピストルを奪おうとする等の暴力を振つたが遂に檢擧された

職長教育終る

平地區産業安全衛生勞災協會主催の各事業場職長教育は二十四日午前十時から本社ホールに各職場の職長百三十余名を集めて開かれ、福島勞基局長、高梨署長の「工場安全特質について」同局藤岡監督官の「安全指導の方法と職場の整理整頓について」平勞基署卷山監督官の「災害統計の作り方等の講義があり散會

倉庫破り檢擧

湯本町八仙子種下五八炭礦汽繩補手金子富三郎（二九）同町淺貝九〇汽繩工手田中二郎（二〇）と共謀廿日町常磐炭礦資材倉庫に合鍵で忍び込み外被三十枚ほか雨合羽等六點合計一万六千三百円相當を盗んだことが判り二十三日湯本町署に捕まつた、田中は現在平刑務所に收容中

はねられ重傷

二十三日午前十一時半ころ常磐炭礦内郷礦住吉本坑内で採炭夫中野照喜（二一）さんは炭車にハネられ腰部に約三カ月の重傷を負つた

訂正　昨報平商工會議所役員改選の記事中一部配達のものに理事山崎與三郎とあるは山崎賢助の誤りにつき訂正

延千三百名が出動 船離礁に成功

救護會の努力に感謝

小名濱海難救護會では去る十四日夜吹雪のため小名濱町辨財海岸に座礁した同町吉港一ヵ月以上はかかる難作業だつたが見事九日目の二十三日無事引揚げ、成功、關係者を慰勞させた

救助作業に出動した會員は延千三百名に達し吹雪の中海中に眞裸で飛込む事も度々で四月も船体が砂にめり込んで仕舞つた

突貫作業を續行したため表彰方を上申したが、今度はので二代會長を中心にけん身的に働いたことが大きく買われている

二代海難救護會長談

會員が「よくやつて呉れた」の一言に感激す、十四日夜小名濱港口で座礁した農林省の鯨山丸（七六〇）や第五福丸は救護會の働きがなかつたら恐らく揚らなかつたろう、今度の經驗で今後は先ず資材の整備に力を入れたい

東北海運局小名濱支局では第五福丸の救助に當つた六氏の功績を認め感謝狀を贈ることにつた

赤井炭鑛に集團赤痢

四名隔離 十八名疑似

赤井村赤井不動堂日曹赤井炭鑛社宅（二四百名）内に集團赤痢發生の疑いがあるため二十三日平保健所では野地拔師ら八名が現場に急行し、四特別委員會は二十六日午前十一時から共立病院に開催病院運營に就き協議する

◇石城郡務適定例技術員會は二十一日午前十時より石城農業會館會議室に開き廿六年度繩處理上關係當局の委任狀に關する條例改正について、桑園肥料の桑二號消石灰の斡旋について、技術職員待遇改善について協議した

◇石城町村長會理事會は二十四日午前十一時から石城地方事務所會議室に開催二十四年度收支決算、廿五年度收支豫算追加更正、廿六年度收支豫算に就き審議した同町村長會は二十八日午前十時半から地方事務所會議室に開催する

審査など

湯本町觀光協會では二十一日午前九時から役員會議室に應募品の小唄作品湯本小唄一七篇、音頭七二篇の審査を行つた結果小唄六篇、音頭五篇を選定、俗謠は二十五日午後二時から行い等級を決定する

感謝狀贈る

あす懇親會

小名濱漁業協同組合では漁業會から漁業權を除く一切の財産處分に關する件、手數料條例改正、危險物取締條例設定、職員旅費支給條例改正、二-五年度特別會計水道事業豫算歳入歳出豫算、市長助役、收入役の給與支給條例改正、議會議員、選擧管理委員會委員、公安委員の報酬及び費用辨償額支給條例改正、職員定數條例改正、公安委員選任について承認を求める件、財政平衡交付金等の件、上水道繰越事業費歳入歳出豫算、二十六年度特別會計水道事業費

日刊（除月曜）定價1カ月金50円（週1回四頁増）一部（二頁）2円（四頁）2円50錢　（第三種郵便物認可）　いわき民報　夕刊　昭和26年2月25日（日曜日）第1462號

週五日制は廢止せよ

（下）

PTA役員　光英博明

昨秋北海道旭川市に赴任に參りました、私はPTAの役員をして居る關係上二、三の學校に伺つて、校長に會つてPTAの運營、週五日制に關して、意見及狀況を尋ねました、すると異口同音に五日制は、目下學藝大學の附屬で一二、三年生に試驗的に、實施して居るが問題でない、私達は生徒を學校教育環境に一時間でも永く置くと云うことには贊成で、教養の高い教師に五日授業するより、少し教養は低くても六日間生徒が居る方が、効果的と考えます

昭和二十五年十二月七日福島民報に、週五日制の是非關下の世論調査まとまる、贊成家庭の手傳をしてもらうことは相當考慮を要します、第三は自分で計劃を立てて勉强出來る、これが今日の教育のねらいである五日制だから出來ないとは云うわけでない、第四は教員は組織的會合や行事さらに、研究に都合が良いこれは其の通りである、が、ややもすれば生徒の學力低下の恐れがある、第五は生徒は家で勉强が出來ん、第六は忌むべき惡に染まる機會が多くなる、第七社會惡に染まる機會が多くなる、第八は教員生徒の負擔が重くなる

結論として現在の青少年犯罪が多くなつて來ること、忌むべき者がふえて來ること、教養が低下すること、教師並に生徒の重荷が體力が弱くなること、日本の再建は現下の青少年に期待せぬばならぬのに自分より忌むべきで、自分より體力も教養の低い、自分より體力の弱い子孫が出來ることは

入賞廿四點

教員研究物發表會

昭和十六年以來、毎年一回行われている平市内小中學校教員の二十五年度研究物發表會は二十二日午後一時から平市役所會議室に開き長谷川教育課長ら八名が審査の結果、五十八點の出品中二十四點が、教育の實際に裨益する事大で獨創的であり研究の努力顯著であることが認められ入賞、特に平市第三小掛田二郎教官の出品になる『學校圖書館に於ける件名目錄の研究』は現在圖書館で普通に行われている圖書調べの十進分類法に比べて簡單で見別けがつき安いという點が認められ特に優秀な折紙がつけられた、入賞者次の通り

『學校總覽の實際』黒田吉之助（一小）『理科指導實踐記錄』第四學年學年會（一小）『學級生活の記錄』金成孝一（一小）『低學年指導實踐記錄』增子和正（一小）『一年生の共同學習』一年擔任（二小）『國工科色彩資料』國工部（二小）『體育科のあり方』横須賀俊一（二小）『電氣配線模型』『電線の種類とつなぎ方』理科研究所（二小）『組立ラヂオ』今宮昇、田中郁郎（一小）『兒童評價の段階』木村健治（三小）『ソシオグラムについて』志賀博（三小）『理科自由研究とラジオ製作の指導』鈴木四郎、吉田良次（三小）『小學校圖書館教育計畫』平三小『學校圖書館に於ける件名目錄の研究』掛田二郎（三小）『本校に於ける健康教育の一端』伊藤フミヨ（四小）『映畫教育の斷片』視聽教育研究部（四小）『學校生活行事表』（五小）『圖書に興味をもつ子供の歩み』長谷川セイ（五小）『教務記錄』『異常兒指導の一端』志賀康二（六小）『社會科單元スクラップス（一年―二年）』谷芳賀正義（六小）『石城平地區の中學校教育費の實態分析』中島茂（一中）『中學一年學級運營の實際について』北原智江子（一中）『中學校に於けるグループ活動』三瓶榮（一中）『PTA生徒會の實際』藤川照（一中）『社會科單元展開と生徒作品』近藤昌龍（一中）

鼠の撲滅運動

市で六日から着手

平市衛生課では此の程一時間に一万五千個を製造する鼠族驅除劑ネオメッソの毒餌製作機二台（三千円）を購入、春の繁殖旺盛時期をネラつて次の日程で鼠族大撲滅運動に乘り出すことになつた

▽三月六日、一、二、三、四、五、六、七、十一、十二、十三、二十八の各區▽三月八日　八、九、十、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十六、三十五、三十六の各區▽三月十日　十四、十五、十六、十七、二十四、二十五、二十七の各區▽三月十三日　二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四の各區と飯野、神谷支所管内、尙驅除劑は一世帶十五個宛無償配布される

社會學級

廿五日三中で

來る二十五日午三中の社會學級は午前九時三十分より同校作法室で開き福島民報平支社長谷川氏の講話および映畫がある

職業研究會

廿五日小川中

小川村中學校では廿五日午前九時から職業及び家庭科の研究會を開く、講師は縣教委事務局指導課主事渡邊武雄、同石城出張所主事鈴木朗の兩氏

狂犬豫防接種

廿七日から

平保健所では二十七日から十七日間にわたつて第三期狂犬病豫防接種を行う、約千頭の豫定であるが該當犬は漏れなく受けるように望んでいる、日程は次の通り

二十七日四倉、二十八日內郷、三日湯本、二日草野、三日高久、五日鹿島、六日赤井、七日三阪、澤渡、八日磐崎、九日泉、十日渡邊、十二日田人、十三日錦、十四日勿來、十五日豐間、十六日江名、十七日小名濱

田人村成人式

田人村では二十日午前十時より小學校に於て成人式を擧行した希望に輝く五十余名の若人に對し澤田村長の祝辭があつて成人證書を授與し終つて作山美八先生の有益な講演があつて終了

落盤で重傷

二十二日午前十一時半頃內郷町常磐炭礦內郷礦綴新斜坑に落盤があり作業中の採炭夫竹江留五郎（三四）さんは頭部に全治一カ月の重傷を負つた

衣類盜難

內郷町高一字仲平九九農根本金江（三一）さん方では二十一日午前十一時ころ留守の間に勝手口から衣類六點五千円相當を盜まれた

娘ザクザク

竹齋松映

良一　服部
笠置シズ子　渡米みやげ　第一回作品

大船明朗音樂喜劇映畫

村一番の聲上手田村シズ子（笠置）は東京へ出てお人好木島（堺）の紹介で作曲家中川（若原）の家の女中に住込む、中川は前の戀人花江（高杉）と別れ社長令嬢和子（山本）に傾きつゝあるのを知つたシズ子は和子と瓜二つの照子（山本）を使つて婚約破棄の日に混亂をおこさせ解消させる、先生の家をクビになつたシズ子と木島は先生の作曲を盜み大劇場に出るが木島は指揮棒を先生に渡し中川メロデー、田村ヴギは全國を風靡する、監督大庭秀雄音樂喜劇（二十五日より三日まで平館）

夜來香

敗戰近き天津で軍醫關（上原）は秋子（久慈）と幸福な一夜を過す、關は酒と女と飯野、神谷支所管内、尙偽造阻止のため無償配布される

婦人服地　ホかや

洋品と呉服

古い歴史と信用本位の

さんかんや

小名濱町本町通り電四六二

桃の節句の御用意は…

壽百貨店へ！

平驛前　電656

新柄呉服　服地　洋品
袋物　既製洋服　靴
化粧品　玩具　趣味用品
和洋菓子　食料品　樂器
樂譜　和洋食　そば　壽司

壽

謹告

聚樂館主人敬白

二十六日より二十八日まで
三日間館内塗裝替と觀覽席を椅子を全部大修理するため休館させて頂きます當館は常に館内設備を整え明るいスクリーン明瞭なトーキーそして樂しくアメリカ映畫を觀賞して頂いております

好評につき二十六日まで續映！

新東寶時代劇　女左膳　川路龍子　伊豆肇　ツバメ鳴無刀流の巻

歌つて踊つてエクボを投げ、乙羽信子の新しい魅力！

26―3日（6日間）大映特作　暴夜物語（ぼうやものがたり）

藤田進　乙羽信子　相馬千恵子　若杉紀英子　宮崎準　河津清三郎

歌の樂園　ヒットメロディ　二本立　平文化館　果世

内科小兒科　高萩醫院

高萩浩　高萩桂次郎

内郷町綴郡電（綴）十一